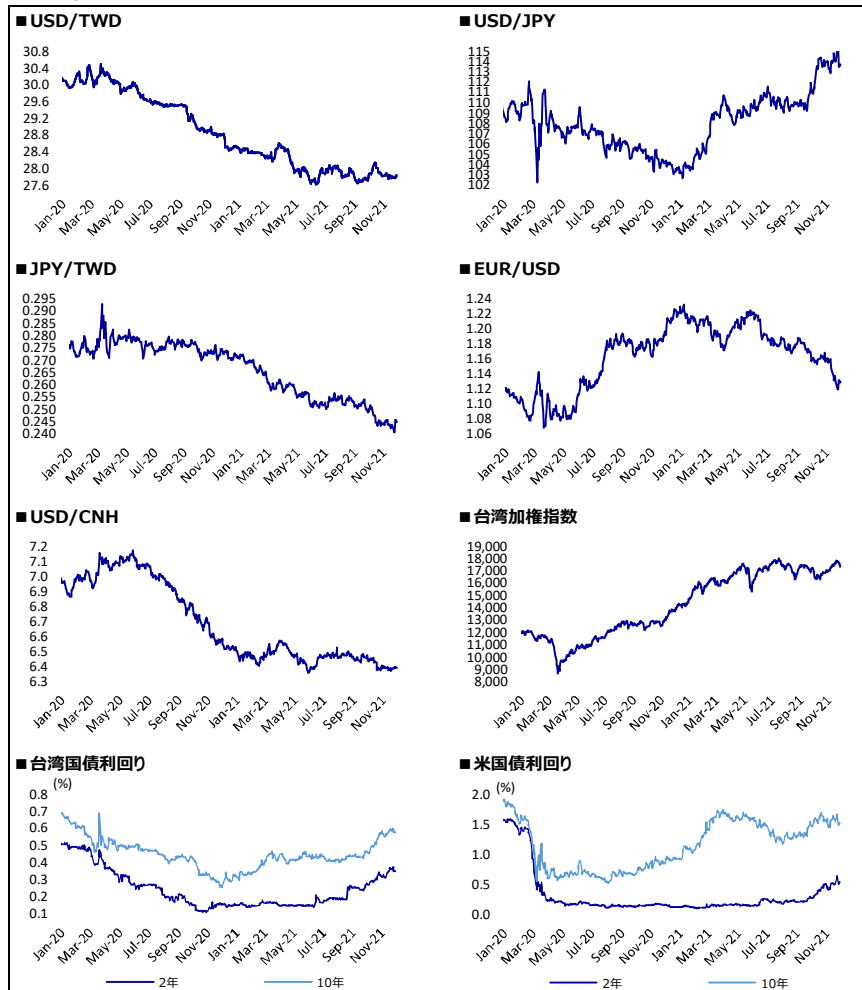


市場動向



先週の市場動向

■ USD/TWD
先週のドル/台湾ドルは上昇。週初11/22は27.840でオープン後、台湾株が上昇する中、27.80を割り込むと輸出企業もドル売りを急ぎ、27.770まで下落したが、この水準では輸入企業のドル買いも入り、下値は堅かった。11/23は27.80を上回ると輸出企業のドル売りが上値を押さえる形となった。11/24も引き続き輸出企業のドル売りが入ったが勢いは弱く、27.80付近のレンジで推移。11/25は米国休日であったからか、月末に近いながらも動意に乏しく、終始27.79付近の狭いレンジで推移。11/26はコロナの変異株を発見との報道からリスクオフの流れとなり、台湾株も売られる中、ドル/台湾ドルはじりじりと上昇し、一時27.857をつけた。引け前には輸出企業のドル売りも入り、最終的には先週比0.1%ドル高台湾ドル安の27.836で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式売り越し額は506.7億台湾ドル。

■ USD/JPY
先週のドル/円は下落。週初11/22は113.95でオープン後、114円台前半まで上昇したが、欧州でのコロナ感染再拡大や原油価格の下落により上値は重かったものの、パウエルFRB議長の続投との報道から短中期ゾーンを中心に米金利が上昇すると、ドル円も114円台後半まで上昇したが115円を前に失速した。11/23はドル高の流れを引き継ぎ115円台にのせたものの、日本が祝日の中、上値を追う展開とはならず、欧州のコロナ感染再拡大を警戒し、円買いが強まり、114円台前半まで下落。しかし、押し目買いが入り再び115円台に。11/24は米10月個人消費等好調な米経済指標やFED高官のタカ派な発言、FOMC議事要旨から米金利が上昇すると、ドル円も一時115.52まで上昇。11/25は米国が休場の中、動意に乏しく115円台前半の狭いレンジで推移。11/26は南アフリカでコロナの変異種発見との報道を受けリスクオフの展開となり、世界的にリスク資産が売られ、安全資産とされる円買いが強まった。経済活動への悪影響も危惧され、利上げ時期を後退するとの見方も強まり米金利も低下する中、ドル円は一時113.05まで下落。下落が一服すると買い戻しも入り、最終的に先週比0.5%ドル安円高の113.50で先週の取引を終了。

今週の見通し

■ USD/TWD 予想レンジ：27.780-27.900
先週末は「オミクロン株」への警戒感からリスクオフの流れとなっており、コロナ関連の報道の報道がマーケットに大きな影響を及ぼすであろう。今週は月末週ではあるが、下値は堅いと思込む。

■ USD/JPY 予想レンジ：112.80-114.80
先週はパウエルFRB議長の続投決定、好調な米経済指標により115円台前半まで上昇したが、「オミクロン株」の発見からリスクオフの流れとなり、113円台に戻された。今週は米雇用統計を控えているものの、コロナ関連の報道に左右される展開となるであろう。

今週の予定

11/29 (MON)	
11/30 (TUE)	米11月消費者信頼感指数
12/1 (WED)	米11月ADP雇用統計、米11月ISM製造業景気指数、米ベージュブック
12/2 (THU)	
12/3 (FRI)	米11月雇用統計、米11月ISM非製造業景気指数

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。